

## 大阪府済生会中津病院ボランティア「こもれび」活動

大阪府済生会中津病院  
病院ボランティアコーディネーター  
松尾 裕美

「こもれび」ボランティア室の朝の風景は、一人、また一人とボランティアさんが集まって来られ、活動前のひと時のおしゃべりが弾みます。当院では2004年2月、3名のボランティア受入れに始まり、2014年4月では60余名にボランティア活動登録をいただいています。そのうち三井V-Netからご紹介をいただいた方は、2004年12月にお一人目となる故上村明様から数えると延20名、現在12名の方が月～金まで各々のご都合の良い曜日に活動をいただいています。



左から道上様 筆者 梅津様

活動内容は主にロビー案内と情報ライブラリー(患者図書・情報室)開館サポート活動です。ロビー案内では再診受付機前での案内や薬受取りサポート、入院患者様の病棟案内の他、病院周辺の美化清掃等をおこなっていただいています。

活動者仲間の息もピッタリで、患者様がお尋ねされた検査室へのご案内をされている方があれば、再診受付機操作の手伝いをしておられる方、面会受付へのご案内。情報ライブラリーでは、図書貸出し及び返却手続や図書を一緒に選んだり、病気のことを調べたい患者様のインターネット検索のサポート

をしたり。お昼までの約2時間、患者様への目配り、気配りとともにさりげなくお声をかけて寄り添い、職員とも積極的にパートナーシップを図ってくださいます。「まるで病院内に一筋のこもれびが射すような活動」と話す職員もおり、いつも温かな愛ある活動に職員一同、感謝しております。

「こもれび」活動は今年の2月で10年が過ぎ、記念行事と記念誌作成を計画しています。三井V-Netから活動していただいている梅津嘉一郎様(前こもれび代表)、道上博墨様(こもれび代表)はじめ皆様方のご尽力により開催を実現できますこと、紙面をお借りしてあらためてお礼申し上げます。



活動の終りに活動記録を各々に書いていただくのですが、活動者同士が気づいたことや、活動状況を話しながら共に喜び、励ましあっておられる姿を見る時が、コーディネーターとして嬉しく、かけがえのない時間となっております。これからもよろしく願い申し上げます。